

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コミュニケーション論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	一年次		学期及び曜時間	前期 金曜3限 他	教室名	406教室
担 当 教 員	小林 雅人	実務経験と その関連資格	大学および大学院で心理学を専攻(修士課程修了)			
《授業科目における学習内容》						
社会・医療現場で求められるコミュニケーションについて理論および実践を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
講義内での演習に関する小課題(50点)、筆記試験(50点)で評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
【教科書】「PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド」 第2版						
《授業外における学習方法》						
授業外学習は復習(講義内での演習に関する小課題)を中心とする。指定した期日を守って提出すること。						
《履修に当たっての留意点》						
本講義では自己ワーク、ペアやグループでの演習を多用し、コミュニケーションについて体験的に学ぶ機会を提供するので講義への参加(課題の提出)を成績評価上、重く扱う。自分から人と積極的に関わる意欲を持って臨んでほしい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの捉え方、レベル、種類、構成要素などについて説明できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。	
	各コマにおける授業予定	第I編 第1章 PT/OTを目指すあなたへ① ・コミュニケーションとは、コミュニケーションのレベル・種類、過程と構成要素など				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己を様々な観点から捉えて客観的に理解し、説明できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。	
	各コマにおける授業予定	第I編 第1章 PT/OTを目指すあなたへ② ・自己肯定感、自己管理、「自律」と「自立」 ・メタ認知能力				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自分自身がどのような特徴を持った人間なのかを理解し、説明できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。	
	各コマにおける授業予定	第I編 第2章 自分を理解しよう① ・自己概念と自己肯定感				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	エゴグラムに基づいて自己の特性を説明できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。	
	各コマにおける授業予定	第I編 第2章 自分を理解しよう② ・エゴグラムによる自己理解 ・ポーターの態度類型				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	非言語コミュニケーションの重要性を理解し、非言語的側面を意識してコミュニケーションを取ることができる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。	
	各コマにおける授業予定	第I編 第3章 コミュニケーション力を育もう① ・言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション ・みる力				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「きく」際に重要な概念や技法を理解し、それらを実践できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅰ編 第3章 コミュニケーション力を育もう② ・きく力(1) 聴き方の持ち味		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「きく」際に重要な概念や技法を理解し、それらを実践できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅰ編 第3章 コミュニケーション力を育もう③ ・きく力(2) 傾聴の基礎<受容・共感・自己一致>		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「きく」際に重要な概念や技法を理解し、それらを実践できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅰ編 第3章 コミュニケーション力を育もう④ ・きく力(3) よい聴き手になるために		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「伝える」際に重要な概念や技法を理解し、それらを実践できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅰ編 第3章 コミュニケーション力を育もう⑥ ・伝える力 DESC法、IメッセージとYouメッセージ、アサーティブネス		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	「みる」「きく」「伝える」3要素のポイントを理解し、質の高いコミュニケーションを実践できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅰ編 第3章 コミュニケーション力を育もう⑦ ・「みる力」「きく力」「伝える力」の総まとめ		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己管理の大切さを理解し、自己管理を実践できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅰ編 第4章 自律した自分になろう ・自己管理:スケジュール管理、健康管理、感情管理、自己実現		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	社会人として求められる礼儀・マナーを理解し、実践できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅱ編 第5章 社会人としてのコミュニケーション ・挨拶、ホスピタリティ、クッション言葉、電話のかけ方、メモの取り方、お礼状の書き方、メールの書き方		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療場面におけるコミュニケーションのポイントを説明できる。 医療面接の流れが説明できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅱ編 第6章 臨床で役立つコミュニケーションスキル ・コミュニケーションの3つの柱 ・医療面接概要、医療面接の実際		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ラポールという概念を理解し、ラポール形成において大切な考え方や技法を実践できる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅱ編 第6章 臨床で役立つコミュニケーションスキル ・医療面接の素地:ラポール形成について		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションが取りにくい状況でも諦めずに工夫してコミュニケーションを取ることができる。	教科書	講義内の小課題を期日までに提出する。
		各コマにおける授業予定	第Ⅱ編 第6章 臨床で役立つコミュニケーションスキル ・医療場面でしばしばみられるコミュニケーション上の問題と対処法		